

# 「DX推進のための分析／設計そして 定着化&効果測定技術」講座の募集

この講座で習得出来ることは

(注)

8日間32時間の講義と1年間の大先輩SEからの助言で

## 分析で真因を視覚化して設計& 定着化／効果測定技術の習得



問題事象のモグラ叩き  
モグラは無限!



真因と解決策の視覚化  
定着化と効果測定技術



(注) 大先輩SEとは、今回の講師で1年間、ご質問に助言します

「講座カリキュラム」2026/5/14～2026/7/2 全8回 毎週(木) 詳細はP3参照

- 受講対象者 : ITベンダSE、情シス担当者、コンサル ・実務経験3年以上
- 受講形態 : ZOOM同時双方向型講座 (定員10名)
- 受講料 : 200,000円(税別)/人 (申請により受講料の助成がされます。添付P2ご参照)
- 中小企業は 受講料の57%の助成金 (実質受講料 95,400円)
- 大企業は 受講料の36%の助成金 (実質受講料 141,200円)
- 申込締切日 : 2026年 4月 14日 (火曜日) (助成金締切日)



# お申込みはこちら

<https://kan-lab.com/contact-bunseki>

または、メール「[asguide@kan-lab.com](mailto:asguide@kan-lab.com)」宛に申込可能です

また、FAXでお申込みの場合は、必要事項をご記入の上、「0798-55-8779」へFAX送信ください。  
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。  
申込締切日 2026年4月14日(火)

## 参加ご希望記入欄

貴社名(必須)	ふりがな		
ご住所(必須)			
TEL(必須)		FAX	
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			
部署・役職名			
ご芳名(必須)	ふりがな		
E-Mail(必須)			

### 【お客様の個人情報の用目的】

お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。

また、第三者にこれを開示することはいたしません。

お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

## [ 本講座の特徴 ] オンライン同時双方向型セミナー

「問題事象」は  
「真因」ではありません！  
「真因」の対策が解決策です



では、「真因」は、  
どのようにして  
求めるのですか？

### 受講者の熱意にお応えします！(補講)

- ・希望者への復習の実施 落ちこぼれZERO！
- ・受講者の希望に応じて休日・深夜補講対応します

### ライブで質疑！ライブで演習の進捗指導！

- ・講義中に課題の進捗をチェックし、お声を掛けます

### 聞きのがした講義はいつでも視聴可能

- ・聞きのがした講義は、ホームページから再生可能

### 「質問シート」は、あなたの一生のメモ

- ・受講者の質問履歴、回答履歴は永久検索
- ・受講後も1年間の質問・助言を受け記録できます

### 大先輩SEからの助言

- ・今回の講師が1年間、ご質問に助言します
- ・必要に応じてZOOMでの面談も可能です

### 毎回受講者が抱える課題を解決

- ・受講者が抱える課題を講師に問い掛け、講師は解決BPR事例(700社)から解決策を提示します

参考HP：[厚労省助成金「人材育成支援コース」](#)「[事業展開等リスクリング支援コース](#)」不明点はお気軽にお問い合わせください

- ①「人材育成支援コース」 : 社員の既存業務のスキルアップや社員研修を充実させる為の研修
- ②「事業展開等リスクリング支援コース」 : 新規事業の立ち上げ等の事業転換に伴う人材育成業務効率化に取り組むデジタルに対応した人材育成

※P1の「実質受講料」は、②項を申請した場合の受講料です。①項の場合は実質受講料が上がります。

# 講座カリキュラム

1 回 目	<b>5月 14日 (木) 13:00~17:00</b>	現状分析
	分析・設計技法 現状分析	1. 目的と意義及び定義 2. 現状分析の実態と問題 3. 現状分析の技法 ( I / O棚卸・個人別職務分析・問題点棚卸・KJ法)
2 回 目	<b>5月 21日 (木) 10:00~17:00</b>	現状分析技法の演習
	分析・設計技法 実習 個人別職務分析	個人別職務分析、問題点棚卸
3 回 目	<b>5月 28日 (木) 10:00~17:00</b>	現状分析技法の演習
	分析・設計技法 実習 K J 法	K J 法、問題点棚卸
4 回 目	<b>6月 4日 (木) 13:00~17:00</b>	基本設計方針(案)の作成方法
	分析・設計技法 基本設計、詳細設計、データ構築	1. 問題点のまとめ 2. 職務分析による人員削減効果 3. 問題点一覧 (設計消し込み用途) 4. サブシステム毎の設計方針 設計技法 1. 基本設計の目的、技法 2. 詳細設計の目的、技法
5 回 目	<b>6月 11日 (木) 13:00~17:00</b>	定着化分析技法
	定着化 & 効果測定技術	1. 目的と意義及び定義 2. 生産管理システムの定着化実態 3. システム定着化分析法の種類 4. 問題点棚卸 ①目的・意図の認識度 ②組織機能の定着化 ③運用オペレーション定着化 ④情報精度 ⑤自動化率・マニュアル要因調査⑥在庫低減進捗
6 回 目	<b>6月 18日 (木) 13:00~17:00</b>	定着化検証会(改善勧告報告会)
	定着化 & 効果測定技術	1. 定着化検証会の目的と実施要領 2. 定着化検証会の報告書の実例 3. 定着化検証会の報告書 (雛形) の説明  効果測定技法 1. 目的と意義及び定義 2. 生産管理システムの効果認識の実態 3. 職務分析と人員削減効果測定 4. 材料費比率分析による材料費削減 5. 在庫低減効果測定 6. 金額換算出来ない定量・定性効果 7. 効果測定報告会
7 回 目	<b>6月 25日 (木) 10:00~17:00</b>	1.業務運用事例を「定着化技法」を使用して、「定着化報告書」を作成
	定着化 & 効果測定技術 実習 発表	2. 「効果測定技法」を使用して「効果測定報告書」を作成
8 回 目	<b>7月 2日 (木) 13:00~17:00</b>	1.各自「成果発表」プレゼン
	総括 分析／設計／定着化 & 効果測定技術	2.「総括」説明